

# 目 次

序 言	1
歴史的背景について	11

## 第 1 部 基本的生産

### 第 1 章 採鉱と採石 ——17世紀まで——

第 1 節 ギリシアの採鉱	3
第 2 節 ローマの採鉱	7
第 3 節 中世の採鉱	10
第 4 節 ギリシアの採石	24
第 5 節 ローマの採石	25
第 6 節 ローマ時代以後のイングランドの採石	29

### 第 2 章 冶金術

第 1 節 ギリシア＝ローマ世界の金属	35
第 2 節 金	35
第 3 節 銀 と 鉛	36
第 4 節 錫, アンチモン, 砒素	39
第 5 節 銅と銅合金	40
第 6 節 鉄 と 鋼	45
第 7 節 中世の冶金術一般	50
第 8 節 中世の鉄と鋼	56

### 第 3 章 農 具

第 1 節 農耕の概観	64
第 2 節 初期のすき	65
第 3 節 重土用のすき	67
第 4 節 犂 耕 法	70
第 5 節 まぐわと熊手	73
第 6 節 収獲用具	74

第7節	脱穀と選別	76
第8節	土掘り用具	77
第9節	その他のさまざまな用具	78

## 第2部

### 製 造 業

#### 第4章 食物と飲料

第1節	コムギ粉とパンの生産	81
第2節	粉碎技術の初期の発展	83
第3節	ギリシア人とローマ人の常食	94
第4節	オリーブ油の生産	97
第5節	中世の常食	99
第6節	ブドウ栽培	104
第7節	リンゴ酒, ビール, 蒸留酒	112

#### 第5章 皮 革

第1節	生皮の処理	117
第2節	仕 上 げ	125
第3節	古代における利用	126
第4節	加 工 法	136
第5節	中世以後の利用	140
	羊皮紙について	150

#### 第6章 紡績と機織り

第1節	繊維とその準備工程	153
第2節	紡 績	160
第3節	かせ糸巻き, 巻取り, 経糸かけ	165
第4節	機 織 り	167
第5節	仕 上 げ	170

#### 第7章 家 具 その1 ローマ帝国の終りまで

第1節	型と様式	176
第2節	材 料	178
第3節	道 具	181
第4節	技 術	186

## 第7章 家具 その2 ローマ時代以後

第1節 「ゴシック」時代	191
第2節 木工職人の技術の分化	192
第3節 彫物職人	196
第4節 塗装職人	197
第5節 ろくろ細工師	200
第6節 棒脚家具	202
第7節 枝編み細工	204
第8節 櫃づくりとおけ屋	204
第9節 箱づくり	205

## 第8章 窯業 その1 前700年頃からローマ帝国の 滅亡まで

第1節 ギリシア陶器 ー前700年頃～前300年頃ー	206
第2節 ヘレニズム時代のギリシア陶器 ー前300年頃～ 前100年頃ー	211
第3節 エトルリア陶器 ー前700年頃～前100年頃ー	213
第4節 共和政時代と帝政時代のローマ陶器 ー前100年 頃～後350年ー	216
第5節 彫像と浮彫り	217

## 第8章 窯業 その2 中世

第1節 資料のよりどころ	224
第2節 回教圏と中国の影響	225
第3節 ビザンツの影響	226
第4節 容器の成形	226
第5節 乾燥と焼成	229
第6節 うわぐすり, 泥漿, 彩色装飾	232
第7節 煉瓦とタイル	240

## 第9章 ガラス, うわぐすり

第1節 ガラス, うわぐすり, フリットの起源	244
第2節 前750年までのガラス器	250
第3節 前750年頃からのガラスの最初のルネサンス	252
第4節 ガラス吹きのはじまり ー前1世紀ー	253

第5節	ローマ時代以後のガラス	256
第6節	材料と用具	258
第7節	ガラスの本質と風化	260
第8節	製造技術	264
第9節	装飾の技術	267

## 第10章 近代科学以前の工業化学

第1節	化学工業の方法	272
第2節	技術的知識のよりどころ	273
第3節	アルカリ, 洗剤, 酸	277
第4節	陶器とガラス	280
第5節	顔料, ワニス, 下地, つなぎ材	282
第6節	染色材, 媒染材	287
第7節	可燃性物質	292
第8節	薬剤, 砂糖, アルコール性飲料, 蒸留	293
	軍事的火工術について	293

引用文献目録	301
参考文献目録	317
図版目録 (本文図版, 写真版, 表)	327
写真版 (アート紙別刷)	巻末